

# 平成30年度予算見積調書

課室名：情報システム課

担当名：システム指導・集中化担当

内線：2291

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B22	県民サービスプラットフォーム整備事業費			一般会計	総務費	企画費	企画調整費	情報政策推進費	
事業期間	平成29年度～	根拠法令	なし				宣言項目		
							分野施策	061351 ICTを活用した県民の利便性の向上	
1 事業概要				5 事業説明					
<p>県民の行政への関心や理解を高めるとともに行政サービスの利用や政策への県民参加を促進するため、県民と行政とをつなぐICTを活用したサービス基盤「県民サービスプラットフォーム（仮称）」を整備する。これにより県民一人一人に最適な行政情報をプッシュ型でタイムリーに提供するしくみを構築する。</p> <p>(1) 県民サービスプラットフォーム保守・運用 36,108千円                      (2) 県民サービスプラットフォームの機能拡張 44,383千円                      (3) ビッグデータを活用したプッシュ型サービスの提供 33,163千円</p>				<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 県民サービスプラットフォーム保守・運用 36,108千円                      イ 県民サービスプラットフォームの機能拡張 44,383千円                      ウ ビッグデータを活用したプッシュ型サービスの提供 33,163千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 平成29年度：実施方針策定、設計開発、システム運用                      ・スケジュール機能等を備えた県民サービスアプリの開発を行う。                      ・利用者情報を一元化しニーズを分析することで、県民一人一人にあった情報をプッシュで提供する県民サービスデータベースを構築する。                      ・県民サービスアプリの活用事業の調整、サービス展開、システム運用等を行う。</p> <p>イ 平成30、31年度：機能追加開発、実施サービス拡大                      ・適用業務拡大のための機能追加開発を行う。                      ・県民サービスアプリのサービス拡大に向けて、利用者、各事業者及び団体への働きかけを行う。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア これまで県政情報を受け取る機会のなかった県民が行政サービスを認知し、必要とする行政サービスを活用できるようになる。</p> <p>(4) その他</p> <p>ア 本事業は県の事業だけでなく、子育て事業等の市町村事業にも適用することで、普及とサービス価値の拡大を図る。                      イ 情報等の管理に対するセキュリティ対策を万全に備えたシステムとして構築・運用する。                      ウ 前年度からの主な変更点</p> <p>(7) 開発フェーズの移行に伴い「県民サービスプラットフォーム開発」を「県民サービスプラットフォーム保守・運用」とする。                      (4) 開発フェーズの移行に伴い「県民サービス手帳アプリの実装・運用」を「県民サービスプラットフォームの機能拡張」とする。</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.5人=14,250千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
決定額	106,634	国庫支出金						106,634	12,919
前年額	93,715	46,857						46,858	